

リース会計・税務・法務実務の勘所と IFRS 改訂基準のポイント

- 日 時 ● 2017年3月29日(水) 10:00~17:00 12:00~13:00 昼食 休憩
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 井上 雅彦氏 公認会計士 (公益社団法人) 日本証券アナリスト協会 検定会員

1986年、一橋大学商学部卒業、生命保険会社勤務を経て、88年、中央新光監査法人(現みずほ監査法人入所)。99年より中央青山監査法人パートナーを経て現在に至る。トーマツ内のリースクレジットインダストリー リースリーダー。日本公認会計士協会他で委員等での要職経験多数。【主な著書等】単著「三訂版キーワードでわかるリースの法律・会計・税務」、単著「三訂増補版キーワードでわかる退職給付会計」、共著「退職給付会計の実務 Q&A」以上税務研究会、単著「Q&A リースの会計・税務(第3版)」、共編者「会計用語辞典」共著「Q&A リース・ノンバンクファイナンス取引の実務」以上日本経済新聞社、単著「事業再編に伴う退職給付制度の設計と会計実務(日本公認会計士協会第35回学術賞受賞)」、共著「退職給付制度見直しの会計実務(第2版)」、共著「退職給付債務の算定方法の選択とインパクト」以上中央経済社、単著「退職給付会計実務の手引き」税務経理協会、その他、会計専門誌等にリース会計、退職給付会計に関する論文等執筆多数。各種団体等でのセミナー講演実績多数、明快で懇切丁寧な語り口で好評。

●プログラム●

- ◆会計、税務、法律の観点からリースの実務を総点検。実務上知っておくべきポイントをわかりやすく解説。
- ◆借手中心の解説。重要な点は貸手の実務にも言及
- ◆IFRSのリース改訂基準のポイントと今後の実務や日本基準への影響を解説。

1. リース会計実務及びリース税務実務の勘所と留意事項

- ✓ 会計処理で何をおさえるべきか、税制上の主要論点は何か、を徹底解説し、実務対応上の重要ポイントを理解いただく
- ✓ 会計と税務との関係、実務上迷う事項を中心に実務上の勘所をおさえていただく。
- ✓ 最新の实務傾向を展望しながら、リース会計実務やリース税務実務上のポイント、異同を深掘していく。

2. リース契約上の勘所と法務上の留意事項

リース取引やリース契約の内容につき、ポイントを絞って理解することにより、リース取引において知っておくべき取引実務、法務実務をマスターしていただく。

3. IFRS(国際財務報告基準)の再公開草案とIFRS及び日本基準の今後の動向

国際会計基準では、借手は全てのリース(不動産やレンタル等の賃貸借取引を含む)をB/Sに計上する、即ち、オペレーティング・リースもオン・バランスすることになった。また、リースの定義やリース期間等についても日本基準と相違した取り扱いとなる。この基準が適用された場合の影響を理解いただくとともに、実務対応で押さえておくべき重要ポイントを徹底的に解説する
 <質疑応答>

*当日、サブテキストとして『リース会計 実務の手引き』講師著 2016年4月刊(定価3,400円 税別)を配布いたします。

●参加要領●

●受講料：1名(資料・サブテキスト・昼食代含)

正会員	43,200円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 40,000円 本体価格 43,000円]

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。<http://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ
 担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp
 〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2
 TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

161786-0106	2017 3/29	リース会計・税務・法務実務の勘所と IFRS 改定	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			